

第3145回
例会本日の
プログラム

(夜間例会) 年末親睦家族会

親睦活動委員会 18:00～(於)札幌パークホテル

年次総会／多様な文化と抱える課題、現代ベトナムの姿 米山奨学生 レクアンズウイさん

皆様、こんにちは。本日は「多様な文化と抱える課題、現代ベトナムの姿」というテーマで発表いたします。今日の卓話の流れは、自己紹介、ロータリーの活動、ベトナムの紹介です。まず、自己紹介をさせていただきます。

私の名前はレクアン・ズウイと申します。私は、ベトナム中部にあるクアンガイ省の出身です。今年は29歳です。

学歴についてですが、2017年9月にホーチミン市の対外経済短期大学を卒業いたしました。卒業後は、2022年4月まで貿易業務に従事し、主に輸出入関連の仕事を担当しました。

ベトナムで日本人と働いたきっかけがあって、私は日本人の働き方や生活習慣、文化だけでなく、日本語にも興味を持つようになりました。また、私にとって日本語を話せるように日本文化を深めることが大切だと思いましたので、2022年5月に来日し、北海道の東川町で2年間日本語を学習しました。東川町は自然が豊かで、人々もとても温かく、私にとって大変思い出深い場所です。

その後、去年札幌国際大学国際教養学科国際コミュニケーションコースの2年次に編入し、基本的に日本語を研究しています。現在は3年生です。大学を卒業後、大学院に進学したいと考えて将来、日本語教師になりたいです。その夢を実現するために、現在来日したばかりのベトナム人技能実習生に初級日本語を日本人学生たちと一緒に指導しています。また、北広島・三井アウトレットパークでハンティングワールドの販売スタッフとしてアルバイトをしています。

ロータリー米山奨学生としてお世話になり、9か月が経ちました。毎回の例会だけでなく、カーリング大会や月寒川にぎわい川まつりやフットサル交流会などといった札幌東ロータリークラブの活動にも参加させていただき、大変貴重な経験となりました。その活動を通じて、社会奉仕・貢献の意識も高まって本当に忘れられない思い出となりました。ベトナムの基本的な地理、そして三つの地域であるハノイ、ダナン、ホーチミンの文化、食文化、人々の特徴について紹介いたします。

次は、ベトナムについて簡単に紹介したいと思います。ベトナムは東南アジアに位置し、南北に細長い国です。北は中国、西はラオスとカンボジア、東は南シナ海に面しています。東京からハノイまでは約4,000km、飛行機で約5時間半かかります。まず、北部の代表であるハノイを紹介します。ハノイはベトナムの首都で北部の中心に位置し、四季がはっきりしている地域です。「千年の都」と呼ばれるほど歴史が長く、古い建築や寺院、伝統芸術、水上人形劇など、伝統文化が現在でも色濃く残っています。食文化は味が淡く優しいのが特徴で、フォー、ブンチャーといった料理が有名です。

次に中部の代表であるダナンを紹介します。ダナンは山と海に囲まれた自然豊かな観光都市です。中部は歴史的にチャンパ王国の影響を強く受けています。チャンパ王国は2世紀から19世紀にかけて現在のベトナム中部に存在した古代王国で、文化にはベトナム文化とチャンパ文化が共存しています。食文化は味が濃く、少し辛いのが特徴で、ブンボーフェ、ミークワン、そしてバンベオなどの米粉料理が有名です。

続いて、南部の中心都市であるホーチミンを紹介します。ホーチミン市はベトナム最大の経済都市で、1年を通して暑い熱帯気候が続きます。

南部は歴史的にクメール系や華人など多様な民族が生活してきた地域であり、その影響から文化は非常にオープンで自由な雰囲気を持っています。また、ホーチミンにはフランスの影響も色濃く残っています。市内にはサイゴン中央郵便局、サイゴン大教会など、フランス統治時代に建てられ

た建築物が現在も残ります。食文化は甘みが強く大胆な味付けが特徴で、フォーティウ、バインセオ、コムタムがよく知られています。さらに、パンやコーヒー文化にもフランスの影響が見られます。バインミーに使われるフランスパンや、練乳入りのベトナム式コーヒー(カフェスーダー)は、フランス文化とベトナム文化が融合した代表的な例として、今では広く親しまれています。



次にベトナムの多民族性、伝説、そして現代の課題について話します。ベトナムは54の民族で構成される多民族国家です。その中で人口の約90%をキン民族が占め、残りの53の民族は山岳地帯や辺境地域に暮らす少数民族です。ベトナムにはアウコーとラックロンの伝説があります。100人の子どものうち50人は山へ向かい、これは現在の少数民族の象徴とされ、50人は海へ向かい、これが現在のキン族の起源と考えられています。この伝説は「すべての民族は同じ母から生まれた兄弟である」という思想を表しています。また、ベトナム語の「(同胞)」という言葉は「同じお腹から生まれた人」という意味であり、民族同士の強い結びつきを象徴しています。しかし、この美しい多様性の裏には、多くの課題も存在しています。少数民族は経済的に困難な状況にあり、収入が低く、仕事の機会も限られています。また、学校へのアクセスが難しい地域も多く、使用言語の違いから教育面で不利な状況に置かれることもあります。さらに、都市への若者の流出により言語や手工芸、伝統衣装などの文化が失われつつあります。観光開発により、文化が商業化されてしまうケースも増えています。

次に、メコンデルタ地域が抱える課題について話します。メコンデルタは「ベトナムの米の生産地」と呼ばれる非常に重要な地域ですが、現在、深刻な問題に直面しています。塩害、川の水不足、地盤沈下、そして川岸の崩壊など、気候変動の影響が深刻化しており、農業・漁業・果物生産に大きな損害を与えています。また、伝統的な水上マーケットが縮小し、若者が都市に移住することで地域コミュニティが弱体化しています。メコンデルタの文化や生活は水と深く結びついていますが、その水環境の変化により文化の存続が危ぶまれています。ベトナムは南北に長い地形と54の民族によって民族間の格差、気候変動、都市化など、多くの課題も抱えています。本日の発表が、多様性の価値や、伝統を守りながら現代化を進めることの重要性について考えるきっかけになれば幸いです。

最後に、ロータリーの交流を通して感じたことは、人と人のつながりの大切さである。札幌東ロータリークラブの皆様は常に温かく迎えてくださり、留学生である私に多くの励ましの言葉をかけてくださり、この半年間を振り返ると、自分の視野が広がり、学びと成長を実感している。今後も引き続き努力していきたいと考えている。ご清聴ありがとうございました。

■本日のロータリーソング なし

2025-2026年度

国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長:フランチェスコ・アレツツォ

よいことの
ために
手を取りあおう